

KU: P

京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL



薬剤部 部署の特徴



薬剤部の基本情報

主な業務指標	
病棟薬剤業務実施加算1	届出済
病棟薬剤業務実施加算2	届出済
薬剤管理指導料算定件数	2,007件/月（2021年度）
抗がん剤無菌調製件数	外来 1,237件/月、 入院669件/月（2021年度）
高カロリー輸液無菌調製件数	770件/月（2021年度）
薬物血中濃度モニタリング件数	2,096件/月（2021年度）
実務実習生受け入れ人数	66名（2021年度）

専門・認定薬剤師の研修施設認定

- ・ 日本医療薬学会 認定薬剤師制度研修施設
- ・ 日本医療薬学会 がん専門薬剤師研修施設
- ・ 日本医療薬学会 地域薬学ケア専門薬剤師研修施設（基幹施設）
- ・ 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修施設
- ・ 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師研修事業研修施設
- ・ 日本病院薬剤師会 HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修施設
- ・ 日本臨床薬理学会 認定薬剤師制度研修施設

スタッフ

職員

教授・薬剤部長	1名
准教授・副部長 (薬学部所属1名含む)	2名
副部長	3名
講師・助教	4名
主任	10名
薬剤師 (うちレジデント13名)	58名
技術補佐・事務補佐	13名

(2022年4月時点)

認定・専門薬剤師

日本医療薬学会

- ・指導薬剤師 (10名)
- ・専門薬剤師 (23名)
- ・がん指導薬剤師 (1名)
- ・がん専門薬剤師 (2名)
- ・薬物療法指導薬剤師 (1名)

日本病院薬剤師会

- ・病院薬学認定薬剤師 (19名)
- ・がん薬物療法認定薬剤師 (2名)
- ・感染制御専門薬剤師 (1名)
- ・感染制御認定薬剤師 (2名)
- ・精神科薬物療法認定薬剤師 (2名)
- ・HIV感染症専門薬剤師 (1名)
- ・妊婦・授乳婦薬物療法専門薬剤師 (1名)
- ・妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 (1名)

日本薬剤師研修センター

- ・実務実習指導薬剤師 (18名)

日本化学療法学会

- ・抗菌化学療法認定薬剤師 (2名)

日本精神薬学会

- ・精神薬学会認定薬剤師 (1名)

日本臨床薬理学会

- ・指導薬剤師 (2名)
- ・認定薬剤師 (4名)
- ・認定CRC (2名)

日本糖尿病療養指導士認定機構

- ・糖尿病療養指導士 (6名)

日本アンチ・ドーピング機構

- ・スポーツファーマシスト (2名)

日本病態栄養学会

- ・NST研修修了 (1名)

(2022年4月時点)

レジデント制度（薬剤師卒後教育）

2006年から薬学教育6年制が開始され薬剤師養成教育の改革が成された。タスクシフトなど薬剤師業務の多角化により、薬剤師のレベルアップが望まれている。京大病院では効果的な新人教育を実施するために、2019年度からレジデント制度を導入した。一般研修と専門研修を有機的に組み合わせ、ポートフォリオを用いた評価体制や、学術活動の支援など、幅広い分野の知識・スキルを習得することが可能である。

- ▶ 新人採用は全てレジデント
- ▶ 特定有期薬剤師として雇用し給与を支給
- ▶ 病棟薬剤業務を含む全般的な基本的スキルを習得
- ▶ 希望者には研究テーマを与え学会発表を目指す

(一例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レジデントプログラム 一般研修	午前	初期研修	内服薬・注射薬調剤	ケモ調剤	病棟業務(内科)	病棟業務(外科)						
	午後											
	プラスα		持参薬チェック	内服薬・注射薬調剤/TDM	ケモ調剤/DI							
	研修課題	マニュアル精読							症例発表		症例発表	成果報告会
レジデントプログラム 専門研修	午前	内服薬調剤	内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ	ケモ調剤								
	午後	内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ	注射薬調剤	内科病棟/外科病棟/がん病棟/治験から一つ								
	プラスα	NST	ICT	緩和								
	研修課題	研究テーマ決定	論文紹介	症例発表	学会発表要旨	論文紹介	症例発表			学会発表		成果報告会
勉強会(一例)	臨床研究	RMP	吸入薬	栄養	薬物動態	ポリファーマシー			感染	周術期	診療報酬	
学会			Future Forum 参加(選抜)							日病薬近畿 学術大会(発表)		

*職員への採用試験

レジデントプログラム

一般研修

目標
薬剤師の基本スキル習得

- ・倫理研修
- ・内服薬・注射薬・麻薬の調剤
- ・抗がん剤等の調整・監査
- ・TDM・医薬品情報
- ・一般病棟業務

専門研修

目標
病棟業務の初期の専門スキル習得

- ・内科、外科、がん病棟専門業務
- ・緩和、感染、急性期専門研修
- ・治験業務など

薬剤師採用
(京大・他病院)

大学院進学
目標：学位取得

キャリアパス支援

臨床経験を多く積ませることによって、自立して判断のできる薬剤師へと成長させ、その後に学位や専門薬剤師の取得を支援する。さらに、女性薬剤師の活躍を促進するため、薬剤師の働き方改革にも力を入れている。最終的には、マネジメント教育も取り入れて、全国へ教授・薬剤部長などの輩出を目指している。

京大病院以外でのキャリア

- ・大学院
- ・薬局
- ・製薬企業
- ・留学
- ・中小病院
- ・行政
- ・CRO
- ・大学

学位取得

Manager Pharmacist

薬剤部長・副部长、教員

Advanced Pharmacist (5~15年間) 目標：専門薬剤師・ミドルマネージャー

- ▶ 専門的知識・技能の習得
- ▶ 新しい業務計画の立案と実行
- ▶ 若手薬剤師のマネジメント
- ▶ 学会発表・論文執筆の指導

General Pharmacist (6~10年間) 目標：自立できる薬剤師

- ▶ 学会発表・論文執筆 (英語)
- ▶ 全般的な薬剤部門業務の習得
- ▶ 学会発表・論文執筆
- ▶ 判断能力・予測能力の育成
- ▶ 新人・学生教育の実施

Basic Pharmacist (2年間) 目標：基本的なスキルを習得した薬剤師

- ▶ 初期の薬剤部門業務の習得
- ▶ セミナーでの基礎知識の習得
- ▶ 内科・外科病棟の基本業務の習得
- ▶ 専門業務の初期研修、学会発表等 (2年目)

京大病院薬剤部出身の教授・薬剤部長 (現職)

大学病院

- ・京都大学医学部附属病院
- ・大阪大学医学部附属病院
- ・神戸大学医学部附属病院
- ・滋賀医科大学医学部附属病院
- ・熊本大学医学部附属病院
- ・山形大学医学部附属病院
- ・和歌山県立医大病院
- ・札幌医科大学病院

その他病院

- ・北野病院
- ・大阪赤十字病院
- ・済生会野江病院
- ・済生会中津病院
- ・倉敷中央病院
- など

大学関係

- ・広島大学
- ・富山大学
- ・立命館大学
- ・大阪医科薬科大学
- ・神戸薬科大学
- ・神戸学院大学
- ・愛知学院大学
- ・武庫川女子大学
- ・姫路獨協大学
- など

研究活動

京大病院薬剤部では、研究活動にも積極的に取り組んでいます。業務内容や薬物療法の客観的評価を行い、医療薬学会などで多数の学会発表を行なっています。新規性の高い成果については、英文誌に投稿し、最終的に論文博士号取得を目指している人もいます。

主な原著論文(2021-2022)

Sukeishi A: Population pharmacokinetic modeling of GS-441524, the active metabolite of remdesivir, in Japanese COVID-19 patients with renal dysfunction. *CPT Pharmacometrics Syst Pharmacol* 11, 94-103, (2022).

Kawata M.: A Nationwide Questionnaire Survey on Awake Craniotomy in Japan. *Neurol Med Chir (Tokyo)*, in press.

Matsuda Y: Effect of Itraconazole and Its Metabolite Hydroxyitraconazole on the Blood Concentrations of Cyclosporine and Tacrolimus in Lung Transplant Recipients. *Biol Pharm Bull* 45, 397-402, (2022).

石村裕樹: レテルモビルの中止によりポリコナゾールの血中濃度が著明に上昇した造血幹細胞移植後の1症例. 日本病院薬剤師会雑誌 58(1), 35-40, (2022).

梅山 遥: 抗真菌剤併用下で多剤併用がん化学療法による有害反応を回避できた肺移植後リンパ増殖性疾患の1例. 日本病院薬剤師会雑誌 58(3), 325-329, (2022).

Katada Y: Pharmacist-physician collaborative care for outpatients with left ventricular assist devices using a cloud-based home medical management information-sharing system: a case report. *J Pharm Health Care Sci* 7, 5, (2021).

主な学会発表(2021-2022)

重面雄紀: うつ病に併発する不眠症に対するベンゾジアゼピン系睡眠薬からエスズピクロンまたはスボレキサントへの変更による有効性に関する非盲検無作為化臨床試験. 第43回日本生物学的精神医学会 第51回日本神経精神薬理学会 合同年会, 2021年7月14日-16日(web/京都).

助石有沙美: レムデシビルの活性代謝物 GS-441524 の母集団薬物動態解析と個別投与設計の検討. 第91回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第64回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第69回日本化学療法学会西日本支部総会, 2021年11月5-7日(Web/岐阜).

杉本充弘: 抗真菌薬ポサコナゾールの血中濃度および薬物間相互作用に関する検討. 第43回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2022年1月29-30日(Web).

加藤亮太: タクロリムスの目標血中濃度達成割合が肺移植後の急性拒絶反応に及ぼす影響. 第43回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2022年1月29-30日(Web).

梅村圭祐: 肺移植患者におけるイトラコナゾール錠剤の吸収に対するレモン飲料の効果. 第43回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2022年1月29-30日(Web).

緒方梨乃: アンピシリン供給停止に伴う抗菌薬の変更が肝移植周術期の合併症リスクに及ぼした影響. 第43回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2022年1月29-30日(Web).